2024年8月30日

《チャイルドラインデータ資料》 2024年度・第1四半期

【集計データから、子どもたちの状況を読み解く】

特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター

▶ 今期のテーマ「学校に行きたくない・不登校」

▶ 2024年4月~6月のアクセス内容と分析 ◀

《第1四半期のテーマ「学校に生きたくない・不登校」》

今回は「不登校」について調べました。

チャイルドラインデータベースにおける「不登校」は、具体的には「学校に行きたくない/最近学校に行かなくなり始めた/30日以上休んでいる・休んでいた」などの内容です。そのうち、約半数の内容が「学校に行きたくない/最近学校に行かなくなり始めた」で、残りの約半数が、「1ヶ月以上学校を休んでいる=不登校」状態の子ども達であると、一部データから推測されます。

昨年、文部科学省の調査によると、不登校の小・中・高校生が合わせて29万9000人と、過去最高の人数となっています。特にこの数年で増加の度合いも増しており、議論が高まっていますので、 チャイルドラインのデータから何が見えるのかを探りたいと思います。

ここでのデータは、過去8年間を集計し傾向をみています。

◆「不登校」の年度別件数と割合

2016年度から2023年度までの「主 訴・学校」の詳細項目にある「不登 校」と記録された件数を集計しまし た。

電話は356~552件でばらつきは少なく、チャットは66件~227件でばらつきがあります。「不登校」の件数については、近年電話が減少傾向、チャットは逆に増加傾向であることを考慮に入れる必要があります。

では、割合を見てみます。電話はわずかですが緩やかに増加傾向、チャットは2018年をピークに、コロナ禍を挟み、やや増減があります。

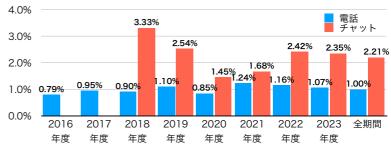
ただ、大きな特徴として「電話」より も「チャット」の方が、不登校に関する 訴えが多い傾向にあるようです。

年度別「不登校」の着信件数(年度・電話とチャット)

| 種類 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 期間合計 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 電話 | 466 | 524 | 475 | 552 | 356 | 514 | 500 | 410 | 3797 |
| チャット | - | - | 72 | 75 | 66 | 91 | 188 | 227 | 719 |

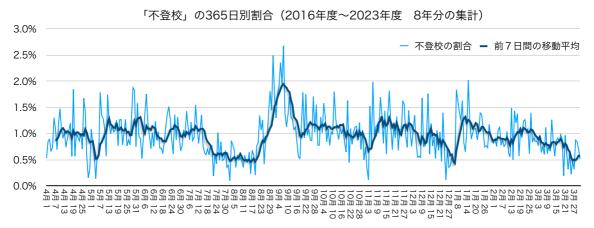
※電話は、2023年度から「ネット電話」の件数も含まれる ※チャットは、常設化した2018年度から集計

年度別「不登校」の割合(会話成立分母・電話とチャット)



◆不登校の365日別割合 ★ここからは、件数の多い「電話」のデータのみのご紹介です。

「不登校」を1年365日別で集計し、1日ごとの割合を見てみました。



※チャイルドライン通常実施のない12月28日~1月4日、閏日の2月29日は除外しています。 ※表記がないものの年度末は、3月31日まで集計・記載しています。

まずグラフの解説です。薄い水色は会話成立を分母とした「日別割合」を示しています。件数が一番少ない日で「1件」(0.01%)、一番多い日で「37件」(2.7%)でした。一桁件数の日も少なくないため、日や曜日によって変化が大きく、ばらつきがあります。そこで変動をやや緩やかにしたのが、紺色の線で示した「前7日間の移動平均」(集計日から前の7日間の合計を7で割った数字で、1日ずつずらして集計)です。ここでは、集計範囲を広げることでより傾向が見やすくなります。それらを基に、以下に3つの注目点を挙げます。

1つ目に注目したいのが、「夏休み明け」です。一番割合(件数も)が高くなっているのは「9月1日」前後で、8月31日に2.48%(37件)、9月5日に2.35%(30件)、9月7日に2.67%(33件)と、突出していることがわかります。

2つ目に注目したいのが、「長期休み明けの反動」です。5月上旬の大型連休、7・8月の夏休み、12月・1月の冬休みの期間は割合が低い一方で、休みが明けたあたりで反動が起こり、休み以前を上回る傾向が示されています。特に夏休みは長期間にわたるため、その反動も大きくなっているようにも見えます。また、年度で区切られているためわかりづらいですが、3・4月の春休みと新学期初めにも反動が起こっています。

3つ目に注目したいのが、「11月3日前後の小さな反動」です。長期休み明け以外にも反動が見られることは少し注目したいところです。考えられる背景には、11月3日は文化の日で短い連休があること、この時期に「文化祭」などの非日常の行事が集中していること、1学期から2学期にかけてのいじめや教室のストレス環境によって2学期を過ごす中で、居づらさが増している子がいる可能性があるなど、いくつかの仮説が挙げられます。

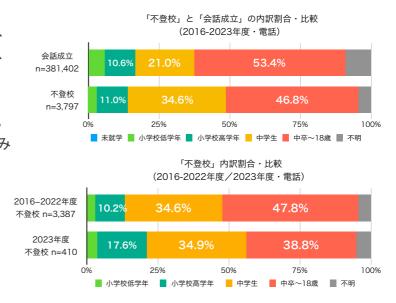
また、上記以外の特徴としては、グラフでは紹介しきれませんでしたが、主に今回の傾向が強く出ているのは「2017年以降」です。「2015年度や2016年度」は、増加の波が顕著ではないので、2017年を境にした変化には注目です。

変化の理由として挙げられるのは、「2015年に発表された自殺対策白書」による「過去40年の子どもの自殺の集計で、9月1日前後に突出しているデータとグラフ」が発表されたこと、またそれを受けて、毎年メディア報道が加熱したこと、子ども支援に関わる団体などによる呼びかけ等が広がり、それらが情報拡散・啓発の役割を担ってきたことが考えられます。特に報道に関しては、2015/16年には「9月1日前後に自殺が多い」という情報提供が中心の内容から、2017年には「夏休み明け前から相談窓口や対応策があることの呼びかけ」をする配信記事や動画が増えたのも一因と考えられます。今後それら以外の要因も探る必要がありそうです。

いずれにせよグラフから近年、チャイルドラインに入る子どもの声においても「子どもの学校に 対するしんどさ」が顕在化しているように思われます。

◆ 不登校の年齢割合

年齢の割合を見ました。上のグラフでは、不登校の割合は中卒~18歳が46.8%と多く、次に中学生34.6%、小学校高学年11.0%となっています。「会話成立」との比較では、「中学生」の割合が高いことがわかります。また直近1年と、それ以前の比較も見てみました。2016-2022年度と2023年度と比べ、小学校高学年が増加しています。現時点ではこれ以上はわかりませんが、学校に行きたくないなどの悩みを持つ年齢層が、やや低くくなる傾向にあるかもしれません。今後、見守る必要を感じます。



◆不登校の性別×年齢

性別と年齢の相関を見てみると、全体的には、会話成立全体の男女割合は、おおよそ男子が54%、女子が45%程度ですので、不登校に関することは女子が多い傾向にあることがわかります。

年齢ごとに見ると、小学校・中学校は女子が多くを占めていますが、中卒~18歳になると男子の割合がやや増加しています。 (未就学は分母が少ないので省略)

「不登校」項目の性別×学年別 内訳割合 (2016-2023年度・電話) 小学校低学年 n=119 小学校高学年 n=418 中学生 n=1,314 中卒~18歳 n=1,777 不明 n=168 不登校全体 n=3,797

25%

50%

100%

■ その他

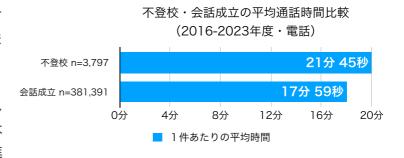
75%

男

◆不登校の平均通話時間(比較)

通話時間は、「会話成立」全体に比べて 「不登校」は21分45秒と長くなっていま した。

明確な理由はわかりませんが、やはり、 行きたくない/行けない・今日休んでし まった・休み続けるようになったなどのは ざまで、さまざまな葛藤があり、しかも進

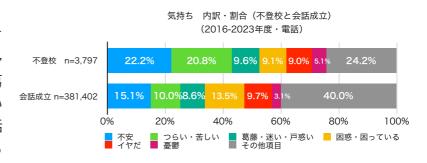


行形だからこそ、気持ちの整理に時間を要している可能性はあろうかと考えられます。 ※「会話成立」の分母が、他のグラフの分母と違いがありますが、これは集計上あきらかなエラー値の11件を除外したためです。

会話成立全体 n=381 402

◆「気持ち」に関する傾向

「気持ち」項目を集計しました。 比較的、それぞれの項目が分散していますが、不登校は「不安」が一番多く、次いで「つらい・苦しい」「葛藤・迷い・戸惑い」「困惑・困っている」「イヤだ」と続いています。会話成立全体と比較しても「不安」「つら



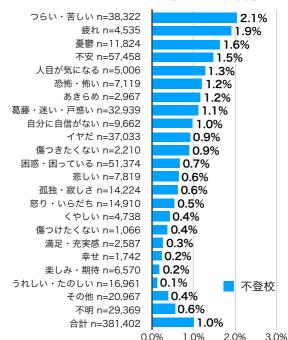
い・苦しい」の割合が高くなっていることがわかります。 次に、別な角度から見た「会話成立の『気持ち』の各項 目の数を分母とした不登校割合」です。

会話成立全体からみた「不登校」の割合は「1.0%」 (グラフ項目では、最後の行に「合計」と表記) となっていますので、これを基準として「気持ち」の各項目を比較すると、「つらい・苦しい」2.1%、「疲れ」1.9%、「憂鬱」1.6%、「不安」1.5%と続いています。

上記横棒の不登校の中の気持ち内訳グラフとは別に、2 番目3番目に「疲れ」「憂鬱」が現れてきていることに注 目したいと思います。不安やつらさなどの感情面があるこ とに加え、身体的疲労や心理的疲労など本人の身体にダ メージや重りがのしかかっている側面も、見えてくるので はないでしょうか。

一方、低いのは「うれしい・たのしい」「楽しみ・期待」「幸せ」「満足・充足感」(0.1%~0.3%・4件~22件)などで、肯定的ではないことがはっきりと現れています。ただこれらは「0.0%」ではなく、ごく少数ながら、不登校に肯定的な捉え方でやりとりをしてくる子どもがい

会話成立の「気持ち」の 各項目を分母とした 不登校割合 (2016-2023年度)

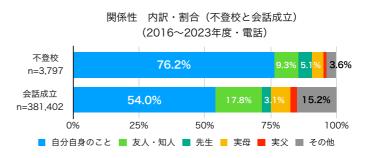


る可能性のあることも、今後の不登校の子どもへの寄り添う視点として、少し気にしておきたいと ころです。

◆関係性

「関係性」項目を集計しました。「自分自身のこと」が多くの割合として占めています。続いて「友人・知人」「先生」や「実母」の関係と続きます。

会話成立の比較では「自分自身のこと」が 「不登校」のほうが高く、大きな開きがありま す。逆に「友人・知人」が低い傾向もありま



す。「自分自身のこと」が多い背景には、いじめや学校や家庭の人間関係などの「対象のある悩み」を通り越して、「行けなくなった自分についての葛藤」に自身が包み込まれているから、と読み解くこともできます。「学校に行きたい(行かなきゃいけない)、でも行けない(行きたくない)」という矛盾した感情が両立しせめぎ合っている場合が多いことから、複雑な葛藤をさまざまな形で抱えている状況・背景に、周囲は気を配る必要があるということも、このデータを通して投げかけられているのかもしれません。

◆つながった動機

つながった動機について集計しました。 「話を聴いてほしい」が8割以上を占め、会 話成立よりも少し高くなりました。

「気持ち」や「関係性」にも関連しますが、学校に行かないことの葛藤を整理したい 思いが、表れているのかもしれません。

つながった動機 内訳・割合(不登校と会話成立) (2016~2023年度・電話)



◆まとめ

- ✓ 件数:2016年からの8年間では電話は大きな増減はなく推移している一方で、チャットはやや 増減にばらつきがある。割合はチャットの方が多い傾向。
- ✓ 365日別:「前7日間の移動平均」では、
 - ①「夏休み明け」が増加、9月1日の夏休み明けが一年で一番突出
 - ②「長期休み明けの反動」で、5月の大型連休、7・8月の夏休み、12月・1月の冬休みに低くなる一方で休み明が明けると反動。
 - ③「11月3日前後の小さな反動」。文化の日連休に文化祭などの行事にともなったストレスや、いじめや教室空間の居心地の悪さが増す可能性。この特徴は2017年以降で、背景には9月1日の自殺関連やメディア報道、行政やNPOなどによる啓発の広がりなどが要因として考えられる。
- √ 年齢:「中卒~18歳」の割合が高いが、「会話成立」比較では「中学生」の割合が高い。直近 一年とそれ以前では、2023年度は「小学校高学年」が高くなっている。
- √ 性別:「女性」の割合が高い。中卒~18歳に絞ると、女性割合は低くなり男性割合が高くなっている。
- ✓ 平均通話時間:「会話成立」全体よりも「不登校」が21分45秒長くなっている。背景に学校に行く・行かないの間による葛藤と、それが進行形の状態で気持ちの整理に時間を要している可能性。
- √ 気持:「不安」「つらい・苦しい」「困惑・困っている」「イヤだ」が続く。会話成立全体比較では「不安」「つらい・苦しい」の割合が高い。「会話成立からみた「不登校」の割合1.0%を基準に気持ち項目を比較すると「つらい・苦しい」2.1%、「疲れ」1.9%、「憂鬱」1.6%、「不安」1.5%と続く。特徴は「疲れ」「憂鬱」で、身体的・心理的疲労などのダメージがのしかかっている側面も。
- ✓ 関係性:不登校は「自分自身のこと」の割合が高い。背景にいじめや人間関係などの「対象のある悩み」を通り越して「行けなくなった自分についての葛藤」に自身が包み込まれている可能性や、「学校に行きたい(行かなきゃいけない)、でも行けない(行きたくない)」という矛盾した感情が両立しせめぎ合っている場合も考えられる。
- √ つながった動機:「話を聴いてほしい」が、会話成立全体と比較しても高い。学校に行く・行 かないの葛藤が表れているかも。

今回のテーマである「不登校」は、昨年、文部科学省の発表で2万9000人を超えるなど、急速な増加を見せているだけでなく、不登校に至らない子ども=「隠れ不登校」や「仮面登校」の子ども達が35万人いるという推計もあり話題となっています。

今回のチャイルドラインデータは、不登校状態の子どもの声でなく、不登校未満や学校のしんど さを抱える子どもたちの声もあることが重要で、さまざまな状態にある不登校の子ども達の背景に 少し迫ることができたのではないかと思います。

特に、今後も大きく変化している可能性がありますので、継続的な深掘りや分析を検討したいところです。

- ◆子どもたちの声 ※個人が特定されないようプライバシーに配慮して再構成しています。
- ◆夏休みが終わる日までに死のうと決めている。 家族がみんな死んでひとりぼっち。早く家族の ところへ行きたい。
- ❖もうすぐ夏休みが終わるけど、宿題も終わっていないので学校に行きたくない。どうしたら学校に行けるようになるかなって思う。いつも遊びに行ってて時間ないし、やる気も出ない面倒くさい。
- ❖8月はじめにコロナに感染した。まだ倦怠感が強く残っている。学校には行きたいけど体調面が不安なのに、家族から「遅刻、早退が多いと留年の可能性があるかもしれない……」と言われてしまって不安でしょうがない。
- ❖夏休みも終わりになって、気分の浮き沈みが 激しい。受験生なので勉強もしないといけな いし。

- ❖家族と話すのも面倒くさくなるし、イライラする。時々、死にたくなる。そしたら楽かなって思う。
- ❖寝る前は気分が下がって、休み明けどうなるかが心配。
- ❖幼稚園のころから集団が苦手、人とのコミュニケーションがうまくできない
- ❖ たぶん自閉症なんだと思う、親はわかってない
- ◆中学に入ってからクラスになじめず登校できなくなった
- ◆高校には行きたいのだけど勉強ぜんぜんやっていないのでどこも入れないんじゃないか
- ◆もう中3だからあせる、でも教科書を開くと クラスのこと思い出して苦しくなり何もでき ない

《データ資料概要と注意点》

2024年4月~2024年6月のアクセス内容、データベースを集計し分析

チャイルドラインに寄せられた子どもたちの声にどのような傾向があるのか。チャイルドラインにおける"データベース"等を基に、集計しまとめました。

・期間:《2024年度・第1四半期》2024年4月~2024年6月(速報値)

・データ集計日:2024年8月2日

・集計数(分母):

【トラヒックデータ】(発信件数・今回使用したデータのみ掲載)

| | 23年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 24年 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 合計 |
|------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 発信件数 | 35,499 | 36,254 | 35,100 | 31,025 | 32,568 | 29,812 | 31,930 | 30,126 | 26,398 | 28,710 | 29,269 | 32,481 | 379,172 |

【データベース】 (件数・今回使用したデータのみ掲載)

| | 23年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 24年 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 合計 |
|------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| DB全体 | 16,038 | 15,975 | 15,430 | 14,013 | 14,840 | 12,805 | 13,684 | 13,995 | 13,118 | 13,298 | 13,868 | 13,349 | 170,413 |
| 会話成立 | 4,169 | 4,253 | 4,230 | 3,976 | 4,435 | 3,804 | 3,604 | 3,769 | 3,852 | 3,946 | 4,098 | 3,869 | 48,005 |

*(全体)は会話成立、会話不成立、無言等を含んだ全体集計数 *他資料とはデータが異なる場合がある。

・表記の定義: 「%」=上記項目の分母(集計した数)の割合 「件」=データベースに入力されたアクセス・会話件数

「ポイント」=パーセントポイント(他の%をポイントとして比較)

・データの種類: 【トラヒックデータ】電話=NTTコミュニケーションズ、チャット=AI.BiSから取得 【データベース】電話・チャット=「受け手」が感じた内容を子どもが特定できない ようプライバシーに配慮し、データベースとして集積

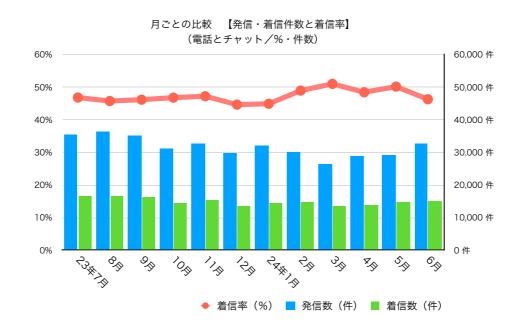
・データの性質: 「速報値」である。そのためデータの誤入力や重複、未入力データがある等、今後、 修正が生じる可能性がある

・データの注意点:各データの小数点をまとめる際に集計上の誤差が生じるため、グラフのデータと他のグラフデータに数字の違いが生じる場合がある

・<u>報道関係の皆様へ</u>: この資料でのデータは速報値で、今後、集計結果が変わる可能性があります。 データ・資料について取材、引用の際は、チャイルドライン支援センター(連絡 先最終ページ)までご一報ください。

《トラヒックデータ/発信数・着信数》

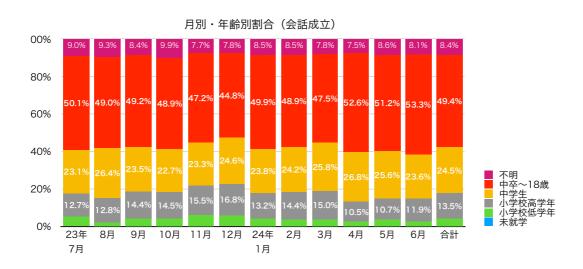
トラヒックデータの発信数・着信数(電話とチャット)の、最近の3ヶ月は、発信数が6月にやや上がった。1年間の推移を見てみると、着信率が少しだが上がる傾向にある。



《データベース・年齢(会話成立)》

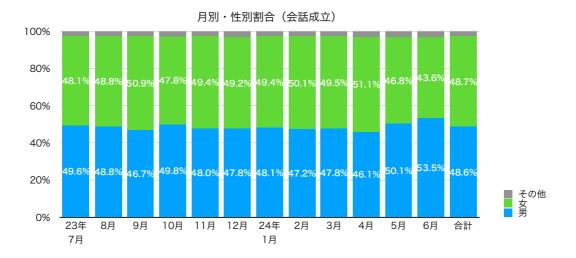
ここからはデータベースの「会話成立」 (電話とチャット・以降のデータも同様) に絞ったデータを紹介する。まず「年齢」別の集計から。

年齢について、1年間の月別推移の割合は、この3ヶ月も中卒~18歳が高かった(約5割)。



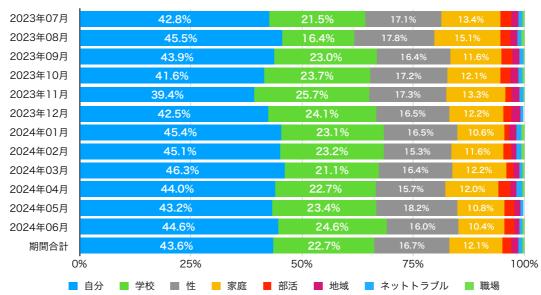
《データベース・性別(会話成立)》

データベースの「会話成立」の中の「性別」を1年間の月別推移で集計した。男女ともに割合に大きな変化はないが、6月に男性の割合が増加していた。



《データベース・主訴 [大項目] (会話成立)》

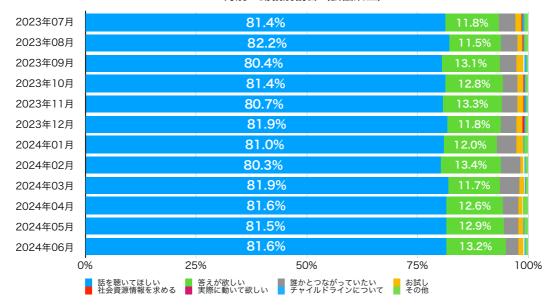
データベースの「会話成立」の中の「主訴[大項目]」を1年間の月別推移で集計した。この3ヶ月は、やや割合の違いはあるものの、概ね全体と大きな変化はなかった。



月別・主訴別割合 (会話成立)

《データベース・動機(会話成立)》

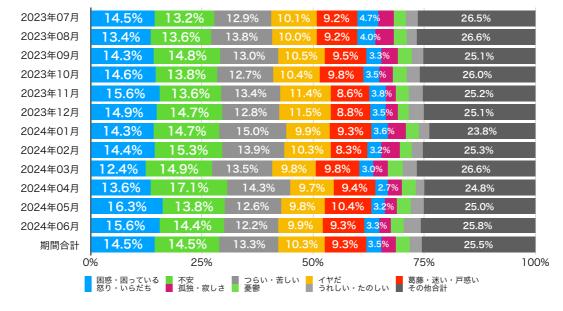
データベースの「会話成立」の中の「動機」を1年間の月別推移で集計した。全体として「話を聴いて ほしい」が大きな割合を占めている。



月別・動機別割合(会話成立)

《データベース・気持ち(会話成立)》

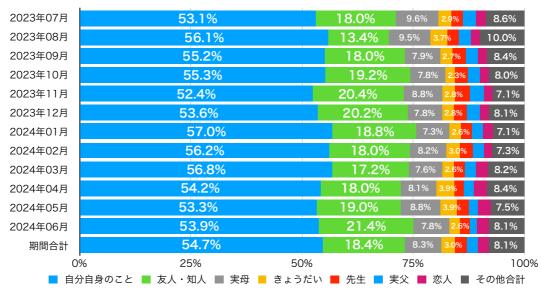
データベースの「会話成立」の中の「気持ち」を1年間の月別推移で集計した。最近の3ヶ月に多少の変化が見られるが、大きな変化はなかった。



月別・気持ち別割合(会話成立)

《データベース・関係性(会話成立)》

データベースの「会話成立」の中の「関係性」を1年間の月別推移で集計した。全体として「自分自身のこと」の割合が多い。月別では、6月に「友人・知人」がやや増加している。

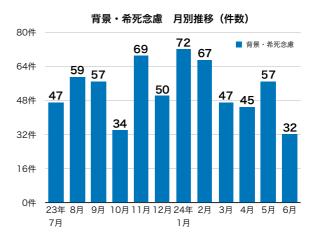


月別・関係性別割合 (会話成立)

《データベース・「希死念慮」(会話成立)》

データベースの「会話成立」のうち、「主訴・希死念慮」と「背景・希死念慮」の件数をそれぞれ1年間の月別推移で集計した。集計数が少ないので参考値ではあるが、主訴・希死念慮は1年間の推移ではやや件数が増加しているように思われる。





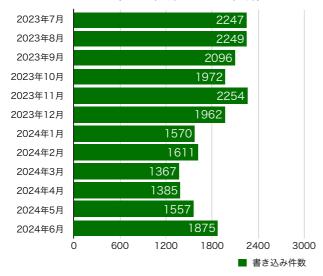
<希死念慮などに関する事例>

- ▶ 学校が怖い。学校の先生が怖い、いつ怒られるか心配。他の人が怒られるの見ると涙が出る。
- ▶ 夏休み前、女子グループから外されたり、陰口を言われたりしていた。今日始業式で席替えで、嫌われた友達グループの女子と一緒の班になってしまった。それでまた、陰口を言われたりして涙が出るくらい辛かった。夏休み明けになったら少しはましになるかろ思ったのにショックだった。
- ▶ 新学期が始まりしんどくなった。1学期はほとんど学校に行けなかった。友達との距離や授業についていけるか心配している。話せる友達はいるけど、困ったことを話しても「しょうがないじゃん!頑張ろう!」と言われるだけで力にならない。
- ▶ 進路が決まらず、生きていくことがしんどい。死ぬことばかり考えている。
- ▶ 自分は、父の思うような出来のいい子ではない。自分が優秀でないからみんなを困らせている。
- ▶悪いのは私だ。

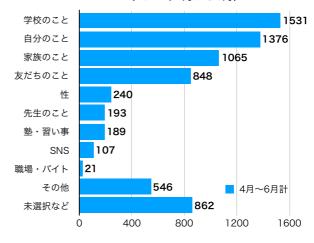
《「つぶやく」に寄せられた声の傾向》

こちらは、ウェブページ上の「つぶやく」に寄せられた声を集計した(属性などは自己申告・記入)。 件数は、3月~5月にやや減少しているようだが、6月は再び増加している。つぶやいた内容のジャン ルは、順に「学校のこと」「自分のこと」「家族のこと」「友達のこと」「未選択など」となっている。

【つぶやく】書き込み件数・年月推移 (2023年7月から2024年6月)



【つぶやく】テーマ別・複数選択 件数 (2024年4月から6月)



くつぶやかれた内容>(投稿者が「公開してもよい」を選択したもの。個人がわからない形で一部編集の上掲載)

- ❖ 死にたい でも何が嫌かわかんなくなって、考えれば考えるほど明日が怖くて眠れない。
- ◆ 世界とかに目を向けたら戦争とかで生きることが難しかったり差別とか受けてたりして自分よりもっと辛い思いをしている人がいっぱいいると思う。だから私のこの気持ちは被害妄想なんじゃないのかって思ってもっと自分が嫌いになる。
- ◆ 自分は消えてしまえばいいのにとか思うけど友達とかクラスメイトだ理由はないけど辛い元気な時もあるとにかく気持ちの浮き沈みが激しい本当はこんなに心が弱くてはいけない、もっと強く生きなきゃいけないのに
- ◆ 「これ以上頑張らなくていい、あなたはよく頑張っている」と言ってほしいでも自分は何もできていない 勉強もサボっているとか会ったこともない人にまで生きてほしいって思うのは我ががまなんだろうか。
- ❖ なんだろうなー 体は女子だけど心は男子みたいなんだよね よくわかんねえ
- ❖ 生きる気力が湧いてきました。今まで部屋から一歩 外は地獄、絶望だった。父がその環境を作った。で すが、離婚し、私はもちろん「母と、一緒に過ごし たい」と言いました。母が再婚しました。前の父と は真逆の性格。優しい、ギャンブル、お酒一切な し、悩みを聞いてくれる。とかいう神。あとは、不 登校を辞めるだけ。5年生から学校に行くつもりで

- す!ついでに、推しがいることを話すと、父母両方 理解し、協力してくれました。ここからが私の人 生。ありがとうございました。
- ★ ゴールデンウィーク明け、学校に行けてない。宿題にも手がつけられず、何をするでも無くひたすらベッドで寝ようとしてる。たまにやることやらなくちゃとは思うけど、学校に行きたく無さすぎて体が震えることもある。どうしたら良いのかわからない。
- ❖ いじめられる方が悪いのかな?毎回そんなことを考えながら寝ている、学校でいつも同じ奴らが、変なあだ名で呼んできたり馬鹿にしてきたりでもそれだけじゃない…自分だけじゃない、他の子がいじめられている事もあるその子に比べたら僕は、いじめられていない方だ。だけどそのことを先生に言う事もできないし自分がいじめられている事も先生に言うことは、出来ないどうする事もできなくて行き詰まっています。
- ❖ 私は中学受験をしようと思っているんですが、家族からのプレッシャーが強くて、少し苦しい。
- ◆ 毎晩両親が喧嘩していてもうどうしたらいいかわからない。
 つらい あの怒鳴り声が怖い 友達にも言えない

つらい あの怒鳴り声が怖い 友達にも言えない もうやだ 何で喧嘩すんの 僕がいるから? あん なに仲良かったのに

【この資料に関する問い合わせ】

制作・著作:特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター

〒162-0808 東京都新宿区天神町14 神楽坂藤井ビル5F

メール:info@childline.or.jp 電話:03-5946-8500

ウェブサイト:https://childline.or.jp/